

微分積分通論 (平成 23 年度, 総合科学部対象)

ガイダンス

* 講義担当教員 藤井 忍 (ふじい しのぶ)

- 研究室：理学部・理学研究科 C 棟 8 階 C 801.
- E-mail address : shinofu@hiroshima-u.ac.jp
- ウェブページ : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/fujii/>
- オフィスアワーは特に設けない。質問等は、研究室にいれば可能な限り対応する。
 - 事前にメールで連絡があると確実。
 - 火曜の午後と金曜の午後は不在のことが多い。
 - 水曜日は高専で授業があるため、終日不在。

* 講義目的 数理現象・社会現象を扱うために必要な微分積分学の素養を身につけること (シラバスより抜粋)。

* 成績評価

- 基本的には「試験 5 割, レポートおよび演習 5 割」で算出。
- 試験は 2 回：中間試験 (6 月中旬ころ), 期末試験 (7 月最終週 ~ 8 月第 1 週)。
- レポートは 2 回ほど出題する予定。
- 定期試験後に救済措置 (たとえばレポートや追試) は執らない。
 - 試験終了後にレポート等を勝手に提出する学生がいるが, そのようなものは一切受け取らない。
 - 試験終了後に頑張るのではなく, 試験前および試験当日に頑張ること。

* 教科書, 参考書 教科書は以下の通り:

- 水本 久夫, 『微分積分学の基礎 改訂版』, 培風館。

その他, 参考書として以下の本を挙げる:

- 青木・大野・尾崎・佐久間・中村 共著, 『微分積分学 28 講』, 培風館。
- 『改訂版 チャート式 解法と演習 数学 III・C』, 数研出版。

* 講義の進め方 講義の進め方は以下の通り:

- シラバスのスケジュールに沿って授業を進めるが, シラバスの内容を必ずしも全てやるとは限らない。受講生の理解度に応じて講義内容を変更することがある。
- 黒板に書かれた内容をノートに写しただけでは数学は決して身につかないので, 講義中に演習の時間を設ける。演習は積極的に参加すること。
- 演習時にプリントを解いてもらう。そのプリントを回収して, 内容をチェックして演習点に加算する。

* 諸注意 遅刻しないこと (8:45 に講義は始めます)。